

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票（令和2年度事業）

達成度（数値達成度のめやす）		自己評価	総合評価
達成	目標値≧100%	4	A
ほぼ達成	目標値≧80%	3	B
やや不十分	目標値≧50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≧75%	4
ほぼ達成	達成値≧65%	3
やや不十分	達成値≧50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考				
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明				数値			
I	収蔵資料の整理・保存 有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	2年度実績	1128点	4	B	年度内新規資料登録点数 目標値は自然史系研究員の数 ×100			
					館設定の目標	500点						
			2	資料の情報化・公開実績	2年度実績	688点	4			情報システム月次報告の年間 データ公開件数（標本登録目 標値を目標値とした）		
					館設定の目標	500点						
			3	資料収集の回数	2年度実績	44回	2				資料収集に出かけた回数（当 該年度分の聞き取り調査結果 による）	
					館設定の目標	80回						
		収蔵資料 の有効活用	4	館外貸出（外部機関等展示等）	2年度実績	6件	4	A	年報4（1）展示利用と研究利 用			
					要望のあった件数	6件						
			5	館内利用（学術調査等）	2年度実績	2件	4			年報4（1）館内利用		
					要望のあった件数	2件						
			6	著作物資料への利用（出版物掲載等）	2年度実績	8件	4				年報用の「4利用」で報告し た数値のうち、著作物の件数	
					要望のあった件数	8件						
		調査研究	7	調査事案件数	件数	2年度実績	11件	4	A			総合研究+専門研究
					館の計画	11件						
			8	共同調査事案件数	件数	2年度実績	17件	4		年報の共同研究員の数+共著 論文の数（館内除く）		
					館設定の目標	8件						
			9	研究成果の公開状況	論文研究報告	2年度実績	21件	4			年報用の「⑥学術論文・学術 書」+「⑦学術報告書」	
					館の計画	8件						
大項目Iの総合評価（A～D）						A						
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●（項目1）：受動的な受入だけでなく、館の資料収集活動で採集したものも含んでいる。 ●（項目4-6）：博物館資料は、有効活用の件数を想定して収集・保管されるものではないため、目標を要望のあった件数とし、申し出があった案件にすべて対応した。 ●（項目3）：新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため資料収集回数は激減したが、未整理標本を登録したため目標値を上回った。 ●（項目9）：今年度は海の博物館で20周年記念論文集を発行したこともあり計画以上の論文を発信できた。 											

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明	数値						
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	2年度実績	32,029人	2	目標は平成23年度数値を参考にした数値			
						館設定2年度の目標	52,000人					
			2	企画展（マリンサイエンスギャラリー） ウミカラ	入館者数	2年度実績	1,252人	1		目標は平成21-28年度数値を参考にした数値		
		館設定2年度の目標				8,000人						
		3	企画展（収蔵資料展） 大収蔵資料展 海博・お宝大集合！	入館者数	2年度実績	19,276人	3	目標は平成21-29年度数値を参考にした数値				
					館設定2年度の目標	20,000人						
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	2年度実績	57回				4	理想郷WB(18), 磯WB(12), こんなの見たよ(5) (¥みたよ¥履歴), ユニット季節(4), ユニット他(4), トピック(14) (¥トピック¥履歴)
						館設定2年度の目標	50回					
			5	企画展（事業名） マリンサイエンスギャラリー、収蔵資料展	実施回数	2年度実績	2回				4	
館設定2年度の目標	2回											
6		実施回数										
総合的な満足度	7	博物館	アンケート満足度 「とっても良かった」+「良かった」の割合	2年度実績			A		アンケート回答なし			
				2年度実績	100%	4			アンケート回答数3			
				2年度実績	92%	4		アンケート回答数36				
大項目IIの総合評価（A～D）							B					
博物館コメント	●（項目1-3）：新型コロナウイルス感染防止対策のため、収蔵資料展期間以外は臨時休館期間が長期に渡り、入場者数は例年と比較して大きく減少した。 ●（項目8-9）：満足度を調査するためのアンケートは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、通常の紙媒体でのアンケートは行わず、スマートフォンで回答してもらう方式を導入した。その結果回答数は激減したが、数少ない回答からは高い満足度が伺えた。											
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	2年度実績	3,611,060円	3	A			
						前年度実績	4,323,040円					
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	2年度実績	4件	4				
						館設定の目標	2件					
大項目IIIの総合評価（A～D）							A					
博物館コメント	●（項目1）：入場料収入は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため臨時休館があったため、昨年を下回った。 ●（項目2）：外部資金の獲得件数は科研費を4件獲得し目標値を上回った。											
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	R2年度実績	78回	3	B	R2ウェブ更新履歴ファイルから		
						前年度実績	92回			情報システムアクセス数集計ファイルから		
			2	HPでの利用状況	アクセス数	R2年度実績	48,109件	3		年報の「記者発表」「行事情報の発信」「メディア掲載」の合計		
		前年度実績				52,579件						
		3	報道機関への情報発信	取材件数	R2年度実績	104件	4					
					前年度実績	96件						
大項目IVの総合評価（A～D）							B					
博物館コメント	●（項目1-3）：行事が軒並み中止となっているにもかかわらず、数値に例年と大きな差が見られないのは、緊急事態宣言に伴う臨時休館の告知等を情報発信したためである。											

分類	大項目	中項目	小 項 目				達成 状況	総合 評価	備考
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明	数値			
V	学校及び地域（関係団体）との連携・協働	学校との連携	1	学校数	R2年度実績	1校	1	C	
					要望があった数	9校			
			2	入館者数	R2年度実績	7人	1		
					要望があった数	140人			
			3	生徒・児童	入館者数	R2年度実績	5人		1
		要望があった数				252人			
		4	博学連携（幼小中高への出前講座等）	学校数	R2年度実績	7校	4		勝浦市内小中6校に「海博コーナー」を設置
					要望があった数	1校			
		5	利用者数	R2年度実績	787人	4			
				要望があった数	5人				
地域関係団体との連携	6	団体数	R2年度実績	0団体	1				
			要望があった数	10団体					
	7	連携・共催（大学、NPO等）	利用回数	R2年度実績	0回	1			
				要望があった数	10回				
	8	利用者数	R2年度実績	0人	1	要望があった人数は希望団体のうち募集人数が確定していた場合の数値			
			要望があった数	185人					
9	友の会活動	利用人数	R2年度実績 館設定R2年度の目標			該当なし			
10	ボランティア活動	活動延人数	R2年度実績	18人	1	R2ボランティア活動日誌集計による。新型コロナウイルス対策により、活動可能日が大幅に減少した。			
			前年度実績	87人					
大項目Vの総合評価（A～D）						C			
博物館コメント	<p>●（項目1-10）：学校および地域関係団体の受け入れは、利用希望団体側から新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため辞退の申し出があったことにより、実施されなかった。</p> <p>●（項目4-5）：博学連携として要望のあった1件は、地元小学校から児童との質疑応答のための出張希望をメールでのやりとりに変更して実施したものである。新型コロナウイルス感染拡大防止対策時における博学連携として、勝浦市内小中学校への「海博コーナー」の設置を行った。これは、当分館研究員が製作してきた「海の生きもの観察ノート」（全15タイトル）を各校2セット配付し、自由に手に取ってもらうことを通して海の自然や生きものへの関心を高め、海洋教育推進の一助とすることを目的とした事業である。</p>								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考				
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明	数値							
VI	教育・普及活動	来館状況	1	観察会	参加者数	R2年度実績	0人	1	D				
						募集員数	136人						
			2	講座	参加者数	R2年度実績	0人	1					
						募集員数	20人						
			3	フィールドトリップ	参加者数	R2年度実績	0人	1					
						募集員数	120人						
		4	バックヤードツアー	参加者数	R2年度実績	0人	1						
					募集員数	165人							
		5	みんなで工作 海の生きもの	参加者数	R2年度実績	0人	1						
					募集員数	90人							
		6	海の体験コーナー	参加者数	R2年度実績	0人	1						
					募集員数	240人							
総合的な満足度	7	観察会	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	R2年度実績	0%	1	D						
				R2年度実績	0%	1							
				R2年度実績	0%	1							
				R2年度実績	0%	1							
				R2年度実績	0%	1							
利用状況	12	相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	R2年度実績	62件	4	A						
				要望数	62件								
大項目VIの総合評価 (A~D)							C						
博物館コメント	●(全項目)：教育・普及活動は、「県立博物館・美術館再開のための指針」における段階設定に基づく新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、全て中止とした。												
VII	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	R2年度実績		1	D	該当なし				
					館設定R2年度の目標								
			2	教員等の研修	R2年度実績	0人	1			総合教育センター海の環境学習研修会			
					館設定R2年度の目標	40人							
		3	職場体験	R2年度実績	0人	1	募集人員は大学生3名、高校生2名だった						
				要望数	0人								
		4	インターンシップ	R2年度実績	0人	1							
				館設定R2年度の目標	5人								
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	R2年度実績			1回		4	A	防火設備研修
						館の計画			1回				
			6	防災訓練実施等	実施回数	R2年度実績			3回		4		情報伝達訓練2回 防災訓練
						館の計画			3回				
大項目VIIの総合評価 (A~D)								B					
博物館コメント	●(項目1-4)：実習研修のうち、教員等の研修とインターンシップは、「県立博物館・美術館再開のための指針」における段階設定に基づく新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、全て中止とした。												

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段：達成値	下段：目標値	値の説明				数値	
VIII	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	R 2年度実績	0団体	1	C		
					前年度実績	42団体				
			2		R 2年度実績	0人	1			
					前年度実績	2,812人				
			3	外国人来館入込	R 2年度実績	0団体	1			
					前年度実績	1団体				
			4		R 2年度実績	217人	4			
					前年度実績	215人				
大項目VIIIの総合評価（A～D）						C				
博物館コメント		<ul style="list-style-type: none"> ●（項目1-2）：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不要不急の外出を自粛するお願いがなされているため当然の結果と思われる。 ●（項目3-4）：外国人来館者は海外からの旅行者より、日本在住の方の来館が主であることが判明した。 								
IX	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備	制作数	R2年度実績	1件	4	B	臨時休館のため僅か2週間しか開催できなかった令和元年度マリンサイエンスギャラリー「超深海 Hadal World - 水深6,000m 以深の世界-」のデジタルコンテンツをウェブ公開した サイト内項目別のアクセス数のカウントデータがないため、全体のアクセス数を記入した。 オンライン講座は事業計画に入っていない。 普及行事の申込方法、アンケート回答方法の多様化
					館設定R2年度の目標	1件				
			2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数	R2年度実績	48109件	3		
					前年度実績	52579件				
			3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数	R2年度実績	0件	1		
					館設定R2年度の目標	0件				
			4	デジタル・デバイス解消のための対策	実施回数	R2年度実績	2件	4		
					館設定R2年度の目標	1件				
大項目IXの総合評価（A～D）						B				
博物館コメント		<ul style="list-style-type: none"> ●（項目1-2）：臨時休館により企画展示の開催日数が激減したため、その内容を紹介するデジタルミュージアムの新たなコンテンツを作成して公開した。 ●（項目3）：年度途中でオンライン講座の実施を検討したが、リモートミーティング用アプリの契約等で問題が生じたため、進めることができなかった。 								
X	その他	コロナウイルス感染症対策	1	館内消毒の実施等感染対策実施	2年度実績	7項目実施	4	A	実施項目：①展示室・展示物定期消毒3回以上/日、②来館者手指消毒（通用口含む）、③来館者検温（通用口含む）、④展示室対応職員の感染予防（マスク・フェイスシールド着用、消毒）、⑤来館者の入館確認票記入、⑥適切な同時入場者数制限の実施、⑦館内の適切な換気	
					館設定2年度の目標	7項目実施				
大項目Xの総合評価（A～D）						A				
博物館コメント		●（項目1）：新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての館内消毒等は全て適切に行い、感染者の発生はなかった。								
総合評価（A～D） [各達成度の平均]						B				
総合評価と次年度への対策		<p>博物館活動の基盤となる資料の収集・整理・保管・活用や調査研究は総じて目標値をクリアしており、前年度に引き続き高い水準を維持している。一般の方がまず目にする展示活動では、入館者の満足度は高い水準を維持する一方、断続的な臨時休館により入館者数は前年度より減少している。教育普及活動では海の生きものを対象とした多彩な活動を用意していたが、学校や各種団体からの要望を受けて実施する出前授業や実習、フィールド観察などはすべて中止となった。一般向けには、講座や観察会などを用意していたが、すべて中止となった。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、R2年度の展示活動では企画展示の会期短縮や変更、教育普及活動では対面で行う行事がほとんど中止となり、入館者数の減少、行事参加者数の激減など大きな打撃を受けた。また、展示室では感染拡大防止対策のために検温や消毒、入場制限などを実施するため人員が割かれ、例年とは大きく異なる形で職員の負担が増えた。</p> <p>次年度も感染拡大防止対策が必要となる前提で、教育普及活動の新たなプログラムづくりや企画展示の立案を行い、R3年度の活動につなげた。</p>								